



2022年12月22日
東日本旅客鉄道株式会社

駅社員へのウェアラブルカメラの導入について

- 東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:深澤祐二、以下「JR 東日本」)は、お客さまに安全かつ安心して駅や鉄道をご利用いただけるよう、鉄道のセキュリティ向上に取り組んでいます。
- 駅社員にウェアラブルカメラを導入し、トラブル発生時にはライブ映像を確認することで、速やかな駆け付け体制を構築します。また、トラブル発生時の状況や経緯等を正確に把握し、適切な判断・対応を行います。
- 駅社員の安全性を更に向上し、安心して働ける環境づくりを推進していきます。

1 導入日

2022年12月26日以降準備出来次第

2 導入箇所

2022年度にJR東日本管内15駅程度に導入を予定しております。



使用イメージ

3 運用方法

- ・駅社員が腕、胸部等に装着し、駅構内、車内の巡回中に使用します。
- ・ウェアラブルカメラ使用中は、カメラで録画していることが分かるよう表示を行います。
- ・トラブル発生時にはライブ映像を確認しながら、迅速かつ的確な対応を行います。

4 その他

- ・撮影した映像データはトラブル防止等の目的でのみ使用します。
- ・取得した映像データについては、一定期間保存後消去します。